

ヘルメットにカメラが装着される・・・！

構内操縦従事者の『ウェアラブルカメラ』とは?!

5月31日、東京修繕車両所業務掲示板に企画科長名で『ウェアラブルカメラの試行について』と題された文書が掲出されました。

- 目的は『構内操縦のヒューマンエラー防止に関する業務研究データ採り』
- 試行期間・対象者は『6月1日以降～当分の間・管理者から指定された者』と記されています。

本当に「ヒューマンエラー防止」「業務研究のデータ採りのため」だけなのでしょうか！？

「ヒューマンエラーを発生させない！」「傷害事故を発生させない！」「運転事故を発生させない！」と思うのは皆同じです。

しかし、ヘルメットにカメラが取り付けられ、録画されているという事は、四六時中監視されているということです。普通の感覚ならば、大変な負担となり、プレッシャーを感じます。また、これ自体『監視労働』と同じです！

これでは歩く『監視カメラ』にもないうる！

録画する内容は、『運転整備から手歯止め装着まで』となっています。しかし、庫内では多くの作業者とすれ違えます。映像の記録として保存する事になるのです。ヒューマンエラー云々は、口実ではないでしょうか？！

カメラを付けた構内操縦者自身を監視すると共に、庫内の社員や作業者をも監視する事にもつながります！

カメラの使用中止を強く訴えます！

これまで会社は、カメラの映像を悪用してきた経緯があります。様子を見て当面『指定した社員』がなし崩し的に構内操縦者全員に！？はたまた仕業検査・交番検査への波及！？が危惧されます。よって私たちは、カメラの使用中止を強く求めます！